学校だより

輝く修成っ子

No.11

令和７年９月９日
津市立修成小学校

校内作品展・奉仕作業ありがとうございました。

９月３日（水）、４日（木）に夏休み作品展が行われました。夏休み期間中、子どもたちが一生懸命取り組んだ自由研究や工作などの力作が、体育館いっぱいに並びました。互いの作品を見合ったり、友だちの工夫に感心したりする姿が見られ、学びを深める貴重な時間となりました。保護者の皆様にもたくさんご来校いただき、子どもたちは作品を褒めてもらうことで大きな達成感と満足感を感じることができたようです。今回の作品づくりにあたり、ご家庭でも温かく見守り、ご協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

９月６日（土）は早朝より奉仕作業にご参加いただき、誠にありがとうございました。

保護者の皆様だけでなく、地域の方々や子どもたちの参加も多数あり、根気強く手際よく作業していただいたおかげで、校内をきれいにすることができました。

事前の準備から当日の運営までご尽力いただいたＰＴＡ役員の皆様にも、深く感謝いたします。皆様のご協力のおかげで、子どもたちが気持ちよく学校生活を送ることができます。本当にありがとうございました。

伝え方で深まる、信頼と不安

私たちは日々の生活の中で、さまざまな情報を人から人へと伝えています。直接聞いた話よりも、第三者を通して聞いた話の方が、良いことであれ悪いことであれ、３倍もの効果を持つと言われています。この**「３倍の効果」**というのは、特にネガティブな情報や噂話において、その恐ろしさを際立たせます。例えば、誰かの悪口や根拠のない噂話を第三者が伝えると、受け取った側は直接聞いた時よりもはるかに強い不信感や不安感を抱きます。それが原因で、予期せぬトラブルに発展することも少なくありません。

現代では、SNS の普及により、この第三者を介した情報伝達が驚くべき速さで広まるようになりました。瞬時に多くの人に情報が拡散されるため、事実確認が不十分なままの伝聞が、あっという間に誤解や誹謗中傷を生み出すケースも増えています。「良かれと思って伝えたこと」が、実は相手を深く傷つけ、人間関係に亀裂を生んでしまうこともあります。これは、子どもたちの世界だけでなく、私たち大人の社会でも同様に起こりうる問題です。

情報を受け取った際には、まず「それは事実なのかどうか」を冷静に確認すること。そして、自分が伝えようとしている情報が、相手にどのような影響を与えるのか、想像力を働かせることが非常に重要です。特に、お子様たちの間での情報伝達においては、保護者の皆様がこの点を意識し、お子様にも**「伝えることの重み」**を教えていく必要があります。不確かな情報に惑わされず、また、安易に拡散することのないよう、ご家庭でも話題にしていただければ幸いです。子どもたちが安心して学校生活を送るためにも、そして私たち大人同士が信頼で結ばれるためにも、情報の受け止め方、伝え方について、考える機会をつくっていただければと思います。